

## 霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

\* 当院では、下記の臨床研究を実施しております。

\* 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

\* 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

\* もし、診療情報提供をご了解いただけない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

\* 研究はあくまで日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様は何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	がん治療施設における妊孕性温存がん治療 がん・生殖医療連携に関する実態調査 (30-17)
研究責任者の氏名 (部門)	新井ゆう子 (産婦人科)
研究の対象 (期間)	2009年1月1日から2013年12月31日までの間に子宮頸がんで手術を受けた中で、卵巣移動術も受けられた15~39歳の患者さん
研究の目的	がん治療施設の若年がん患者さんにおける妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携に関する実態調査を具体的におこない、日本における妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携に関する実態を明らかにすることを目的としています。
研究の概要	近年、若年子宮頸がん患者さんは増加傾向で、子宮摘出が必要な段階で診断される場合も少なくありません。子宮頸がんの卵巣転移は少ないことから、若年患者さんに対しては、術後に放射線治療が予想される場合に照射外に卵巣移動固定を行うことがあります。その後の卵巣機能や卵巣の再発管理についての評価は今まで行われておりません。そこで本研究では、今後も増加するであろう若年子宮頸がんの患者さんに対しての管理法を確立していくため、実態調査を行うこととなりました。
研究に使用される項目	手術時年齢、手術前結婚歴、手術前妊娠既往、手術前挙児希望の有無、手術前 SCC 値・CEA 値・CA125 値・神経特異エノラーゼ値、手術前の卵巣予備能検査施行の有無、初回手術実施日、手術方法、術後進行期、病理組織分類、卵巣位置移動場所、術後放射線療法の有無、術後放射線線量、術後化学療法の有無、化学療法レジメン、女性ヘルスケア外来のフォローアップの有無、女性ヘルスケア外来担当者、女性ヘルスケア外来治療方法、治療後卵巣予備能、卵巣位置移動術後の卵巣腫大の有無、卵巣位置移動術後の手術の有無、卵巣位置移動術後の術式と組織型、再発の有無、再発日、再発時治療、再発時の妊孕性温存治療の有無、最終生存確認日、最終生存確認時の転帰
個人情報の保護について	本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからない形で提供されます。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	研究代表者 聖マリアンナ医科大学 産婦人科教授 鈴木直 TEL:044-977-8111 (代) (内線 3332) FAX:044-977-2944
備考	

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話：029-822-5050)